

ムード歌謡で茶釜の湯が歌声いっぱい

熟年バンドのヒマナスターズ

日立製作所のOB 7人で活動するアマチュアバンド、ヒマナスターズが2月24日、通所リハビリセンター「茶釜の湯」でコンサートを開きました。茨城県出身の作曲家、吉田正のメロディーや昭和のムード歌謡を演奏し、会場が歌声で包まれました。

ヒマナスターズは、日立製作所の井出英雄さんら同期入社7人で活動するバンドで、50数年前に結成、2年間活動したが、仕事や転勤などで自然解消。10年ほど前に再結成し、吉田正の名曲やムード歌謡を中心にバンド活動を行い、茶釜の湯でのコンサートは107回目になるといいます。

コンサートは井出さんら6人が出演。吉田正の名曲「夜霧のエアターミナル」を皮切りに、「有楽町で逢いましょう」、「誰よりも君を愛す」などの吉田正メロディーを披露。引き続き「青い山脈」「高原列車は行く」「北国の春」「ともしび」「北上夜曲」などのムード歌謡を演奏し、会場からも手拍子や歌声が響きました。

ラストは吉田メロディーを演奏。「街のサンドイッチマン」と「泣かないで」を披露し、会場を魅了しました。

平成30年2月26日

